

- 日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 2000, 金沢.
- 8) 滝澤 基, 金子 誉, 河野恵子, 深田幸仁, 依田逸人, 雨宮厚仁, 星 和彦: 前日の糖質摂取量が妊婦糖負荷試験時の血糖値とインスリン分泌および脂質代謝に与える影響. 第100回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会学術講演会(ポスター), 2000, 大宮市.
 - 9) 金子 誉: 「耐糖能」に影響を及ぼす食事性因子糖質摂取の重要性. 平成12年度前期山梨県産婦人科集談会, 2000, 甲府.
 - 10) 金子 誉, 多和田真人, 女屋敏正: 糖尿病にいたる生活習慣 患者・対照研究. 日本糖尿病学会第43回年次学術集会, 2000, 名古屋.
 - 11) 手塚英夫, 王 培玉, ガンマダバサンプ, 秦 立強, 王 原, 金子 誉, 佐藤章夫: 低糖質食摂取による耐糖能悪化に関する遺伝要因解析の試み. 日本獣医学会, 2000, つくば.
 - 12) 金子 誉, 宮尾 克, 竹本泰一郎: 中小企業労働衛生問題について. 第73回日本産業衛生学会労働衛生関連法制度検討委員会活動報告, 2000, 北九州.
 - 13) 王 培玉, 王 原, 大村 実, 金子 誉, 佐藤章夫: 前思春期の牛乳飲用によってヒトの生殖能力が低下する?. 第70回日本衛生学会, 2000, 大阪.
 - 14) 王 培玉, 金子 誉, 佐藤章夫: 糖尿病治療薬ボグリボースによる肝チトクロム P 450の誘導および四塩化炭素肝毒性の増強. 第73回日本産業衛生学会, 2000, 北九州.
 - 15) 王 原, 三浦善憲, 金子 誉, 王 培玉, 松井寿夫, 佐藤章夫: 低糖質食がラットのインスリン分泌能に及ぼす影響. 第70回日本衛生学会, 2000, 大阪.
 - 16) 金子 誉, 佐藤章夫: 糖尿病にいたる生活習慣(第2報). 第73回日本産業衛生学会, 2000, 北九州.
 - 17) 金子 誉, 滝澤 基, 王 原, 王 培玉, 星和彦, 佐藤章夫: 妊婦における糖質の摂取量と耐糖能の関係. 第70回日本衛生学会, 2000, 大阪.
 - 18) 金子 誉, 滝澤 基, 星 和彦, 佐藤章夫: 妊婦の耐糖能に影響を及ぼす食事性因子. 第70回日本衛生学会, 2000, 大阪.
 - 19) 滝澤 基, 金子 誉, 河野恵子, 深田幸仁, 依田逸人, 雨宮厚仁, 安水洸彦, 星 和彦: 前日の糖

質摂取量が妊婦糖負荷試験に与える影響. 第52回日本産科婦人科学会総会ならびに学術講演会(一般口演), 2000, 徳島.

- 20) 金子 誉: Metabolic interactions between organic solvents. -with highly and poorly metabolized compounds. 山梨県医師会特別賞受賞記念講演, 2000, 山梨医科大学.
- 21) 金子 誉, 多和田真人, 女屋敏正, 小林浩司, 雨宮伸: 低糖質食摂取による耐糖能悪化のメカニズム. 第37回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 2000, 横浜.

保健学 講座

Health Sciences

学 術 論 文

Research Papers

- 1) Noobuhiko MIYAZAWA, Hedeaki NUKUI, Zentaro YAMAGATA, Thoru HORIKOSHI, Tsutomu YAGISHITA, Msao SUGITA (2000) Statistical analysis of factors affecting the outcome of patients with ruptured distal anterior cerebral artery aneurysms. Acta Neurochir (Wien), 142:1241-1246
- 2) Takashi ASADA, Takuro MOTONAGA, Zentaro YAMAGATA, Masatake UNO, Kiyohisa TAKAHASHI (2000) Associations Between Retrospectively Recalled Napping Behavior and Later Development of Alzheimer's Disease: Association with APOE Genotypes. SLEEP 23(5):629-634
- 3) Fumihiko MABUCHI (2000) Pars plana filtration with multiple laser perforation of the uvea for neovascular glaucoma following proliferative diabetic retinopathy. JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY, 44:392-399
- 4) Trevor W. Murphy, 山縣然太郎 (2000) 身延深敬病院の運営方法 募金活動に関して. 山梨医大紀要, 17:6-9
- 5) 武田康久 (2000) 日本における新生児マス・スクリーニング体制について 関係機関の相互連携システムとフォローアップ体制の在り方. 日本マス・スクリーニング学会誌, 10(1):19-29
- 6) 塚本克彦, 猪爪隆史, 三井 広, 樋泉和子, 北村玲子, 今井佳代子, 川那部岳志, 齋藤 敦, 柴垣

直孝, 島田眞路, 山縣然太郎 (2000) 山梨医大における皮膚癌発症に関する免疫学調査: 特に紫外線の影響について. 山梨医大誌, 15(3):75-82

著書 (分担執筆, 著者, 編者等)

Books

- 1) 山縣然太郎 (2000). 図説国民衛生の動向2000 厚生統計協会, 東京.
- 2) 山縣然太郎 (2000). 地域保健活動のための疫学, 日本公衆衛生協会, 東京.
- 3) 山縣然太郎 (2000). 山梨大学公開講座「情報シリーズ」1 人間と情報, 山梨日日新聞社, 山梨, 61-110
- 4) 山縣然太郎 (2000) 今日の小児治療指針. 教職員の健康管理, 医学書院, 東京. 488-489

総説

Review Articles

- 1) 中村和彦, 植屋清見, 山縣然太郎, 坂下昇次, 秋山由里 (2000) 山梨大学教育人間科学部紀要 2(1). 高齢者の自立促進を目指した地域保健活動, 109-116
- 2) 山縣然太郎 (2000) 予防医学. 保健婦雑誌56(12), 1110-1112
- 3) 山縣然太郎 (2000) インフォームド・コンセントとインフォームド・チョイス. 保健婦雑誌56(12), 1105-1108
- 4) 玉腰暁子, 石川鎮清, 尾島俊之, 菊池正悟, 小橋元, 斎藤有紀子, 杉森裕樹, 中村好一, 中山健夫, 武藤香織, 山縣然太郎, 鷺尾昌一 (2000) 疫学研究におけるインフォームド・コンセントに関するガイドライン Ver.1.0.
- 5) 山縣然太郎 (2000) 生活習慣病の分子遺伝疫学研究 遺伝情報の活用と倫理課題. 山梨医大誌15(4), 83-89
- 6) 山縣然太郎 (2000) 長期入院児の疫学. Neonatal Care 13(2), 26-29
- 7) 平山宗宏, 山縣然太郎, 武田康久, 長坂典子 (2000) すこやか幼児のこころとからだ幼児健診のために. 厚生省児童家庭局母子保健課小冊子
- 8) 山縣然太郎 (2000) 生活習慣病と遺伝子. 薬局, 46-51

その他

Other Publications

- 1) 山縣然太郎 (2000) 保健室利用中3が最多全国の小中高1264校を調査. 山梨日日新聞 (2000.7.21) 記事.
- 2) 玉腰暁子, 石川鎮清, 尾島俊之, 菊池正悟, 小橋元, 斎藤有紀子, 杉森裕樹, 中村好一, 中山健夫, 武藤香織, 山縣然太郎, 鷺尾昌一 (2000) 疫学研究におけるインフォームド・コンセントに関する研究と倫理ガイドライン策定研究. 平成11年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業研究報告書, 1-90.
- 3) 矢内原巧, 山縣然太郎, 田原隆三, 藤間芳郎, 岩崎信爾 (2000) 生殖補助医療技術に対する患者の意識に関する研究: 全国調査の結果から. 平成11年度厚生科学研究 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第2/6). 750-766.
- 4) 奥野晃正, 三池輝久, 渡辺久子, 星加明德, 衛藤隆, 小枝達也, 金生由紀子, 山縣然太郎, 沖潤一, 保科清, 赤松拓, 市木美和子, 高田憲司, 武田鉄郎 (2000) 心身症神経症等の実態把握及び対策に関する研究. 平成11年度厚生科学研究 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第2/6). 935-939.
- 5) 山縣然太郎, 松浦賢長, 玉腰浩司, 豊嶋英明, 長瀬博文, 荻野景規, 中村和彦, 大木秀一, 山田七重 (2000) 各種母子保健・医療情報の集積, 活用に関する研究. 平成11年度厚生科学研究 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第6/6). 80-88.
- 6) 山縣然太郎 (2000) 診断に重要な遺伝カウンセリング. Japan Medicine (2000.3.27) 記事
- 7) 古閑美奈子 (2000) 身近な食材でおやつ作り. 山梨日日新聞 (2000.1.20) 記事

学会発表

Presentations at Congresses

- 1) Zentaro YAMAGATA, Fumihiko MABUCHI, Kenji KASHIWAGI, Sa TANG, Hiroyuki IJIMA, Shigeo TSUKAHARA: Analysis of MYOC/TIGR gene mutations in Japanese patients with normal tension glaucoma. 50th Annual Meeting The American Society of Human Genetics, 2000, Pennsylvania, U.S.A.
- 2) Fumihiko MABUCHI, Zentaro YAMAGATA, Kenji KASHIWAGI, K. ISHIJIMA, Sa TANG,

- Hiroyuki IJIMA, Shigeo TSUKAHARA : A novel MYOC/TIGR gene mutation (ARG 158 GLN) in Japanese patients with open angle glaucoma. 50 th Annual Meeting The American Society of Human Genetics, 2000 ,Pennsylvania, U.S.A.
- 3) 山田七重, 松浦賢長, 玉腰浩司, 長瀬博文, 中村和彦, 武田康久, 山縣然太郎: 母子保健情報の活用に関する研究. 第18回山梨小児保健学会, 2000, 甲府市.
 - 4) 古閑美奈子, 成順月, 田村右内, Trevor W.Murphy, 唐颯, 山田七重, 岡本まさ子, 間淵文彦, 武田康久, 根津直美, 広瀬美穂, 萩原静子, 矢崎よし哉, 篠原真弓, 中村裕子, 雨宮久美子, 中野美幸, 山縣然太郎: 母子保健調査による小児の食生活について 食事の取り方とその要因について . 第18回山梨小児保健学会, 2000, 甲府市.
 - 5) 篠原真弓, 萩原静子, 中村裕子, 雨宮久美子, 中野美幸, 根津直美, 広瀬美穂, 矢崎よし哉, 山中龍宏, 古閑美奈子, 山田七重, 間淵文彦, 武田康久, 山縣然太郎: 塩山市における乳幼児の事故に関する調査 事故の発生状況に着目して . 第18回山梨小児保健学会, 2000, 甲府市.
 - 6) 間淵文彦, 山縣然太郎, 柏木賢治, 飯島裕幸, 塚原重雄: 日本人正常眼圧緑内障における TIGR 遺伝子変異. 第18回 K.E.R. 学会, 2000, 東京.
 - 7) 武田康久: 乳幼児突然死症候群の危険因子に対する保護者の行動変容と死亡児数の推移に関する検討. 第47回日本小児保健学会, 2000, 高知市.
 - 8) 山縣然太郎: 本邦における低出生体重児長期入院の実態. 第45回日本未熟児新生児学会, 2000, 新潟市.
 - 9) 山縣然太郎, 進藤由紀, 武田康久, 間淵文彦, 唐颯, 田村右内, 朝田隆: Alzheimer 病患者における VLDL 受容体遺伝子多型の分布. 日本人類遺伝学会第45回大会, 2000, 福岡.
 - 10) 間淵文彦, 山縣然太郎, 柏木賢治, 唐颯, 飯島裕幸: 日本人正常眼圧緑内障による TIGR 遺伝子変異. 日本人類遺伝学会第45回大会, 2000, 福岡.
 - 11) 小林 澄, 武田康久, 山縣然太郎: 人間ドック受診者におけるヘルスアセスメント票の評価と健診結果. 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 12) Trevor W.Murphy, 山縣然太郎: 身延深敬病院の運営方法 募金活動に関して . 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 13) 山縣然太郎, 武田康久, 田村右内, 衛藤 隆: 小児心身症, 神経症等の全国実態調査 (第2報: 研究方法). 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 14) 田村右内, 武田康久, 山縣然太郎, 衛藤 隆: 小児の心身症, 神経症等の全国実態調査 (第1報: 研究方法). 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 15) 山田七重, 松浦賢長, 玉腰浩司, 長瀬博文, 中村和彦, 武田康久, 山縣然太郎: 母子保健情報の集積及び活用に関する研究. 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 16) 武田康久, 山縣然太郎, 池田真由美, 副家早苗, 藤本真一, 中村安秀, 日暮 眞: 母子健康手帳及び母子保健情報提供方策の評価に関する検討 (第2報). 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 17) 古閑美奈子, 長田 篤, 山田七重, 田村右内, 武田康久, 山縣然太郎: 幼児期における食品摂取の経年的変化に関する研究. 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 18) 中村裕子, 矢崎よし哉, 根津直美, 山中龍宏, 山田七重, 武田康久, 山縣然太郎: 小児の事故の実態 地域ベースの調査より . 第59回日本公衆衛生学会, 2000, 前橋市.
 - 19) 山縣然太郎: 生活習慣病と健康日本21 第3回山梨生活習慣病研究会, 2000, 山梨医科大学.
 - 20) 鈴木孝太, 武田康久, 星 和彦, 山縣然太郎: 出生前診断に関する文献数の年次推移. 第2回遺伝性疾患に関する甲信越・北陸出生前診断研究会, 2000, 甲府市.
 - 21) 間淵文彦, 山縣然太郎, 柏木賢治, 石嶋清隆, 唐颯, 飯島裕幸, 塚原重雄: 開放隅角緑内障患者における未知 MYOC/TIGR 遺伝子異変 (Arg 158 Gln). 第11回日本緑内障眼科学会, 2000, 神戸市.
 - 22) 山縣然太郎: 難病と遺伝 遺伝情報をめぐる諸問題 . 第5回日本難病看護学会学術集会, 2000, 東京都三鷹市.
 - 23) 山縣然太郎: 保健室を訪れる子供たち. 第2回子供の健康支援フォーラム, 2000, 甲府市.
 - 24) 山縣然太郎: 長寿関連遺伝子について. 第42回日本老年医学会学術集会, 2000, 仙台市.
 - 25) 岩崎信爾, 田原隆三, 藤間芳郎, 矢内原巧, 岡井崇, 山縣然太郎: 生殖補助医療技術に対する医師

及び国民の意識に関する研究．第122回日本不妊学会関東地方部会，2000，甲府市．

- 26) 山縣然太郎：小児外来における心身症患者調査．第70回日本衛生学会総会，2000，大阪．
- 27) 大木秀一，山縣然太郎：出生時から11歳時にかけての身長の子親相関．第70回日本衛生学会総会，2000，大阪．
- 28) 山縣然太郎：ゲノムと予防．日本衛生学会ワークショップ「ヒトゲノムと保健・医療」，2000，大阪．
- 29) Murphy，山縣然太郎：鎌倉時代における叡尊・忍性の救癩事業 イギリス中世の状況と対比して．第73回日本ハンセン病学会，2000，鹿児島県鹿屋市．
- 30) 山縣然太郎：骨粗鬆症感受性遺伝子．第25回山梨医科大学医師会講座，2000，山梨医科大学．
- 31) 大木秀一，山縣然太郎：共分散構造分析による身体発育縦断データの遺伝疫学的解析．第10回日本疫学会学術集会，2000，鳥取．
- 32) 山縣然太郎：地域における小児事故の実態調査．第10回日本疫学会学術集会，2000，鳥取．
- 33) 二瓶美奈子，山縣然太郎：農村地域における母子栄養に関する調査．第12回山梨県農村医学会，2000，甲府市．
- 34) 大木秀一，山縣然太郎：双生児およびその両親・祖父母の身長解析．第14回日本双生児研究学会学術講演会，2000，三重県津市．

内科学講座第1教室

Internal Medicine 1

学 術 論 文

Research Papers

- 1) Ichiro TAKAYAMA, Eri SETO, Hiroaki ZAI, Shinichi OHNO, Hideo TEZUKA, Yataro DAIGO, Masayuki A. FUJINO (2000) Changes of In Vivo gastrointestinal motor pattern in pacemaker-deficient (WsRC-Ws/Ws) rats. DIGESTIVE DISEASES AND SCIENCES, 45(10): 1901-1906
- 2) Ichiro TAKAYAMA, Yasuhisa FUJII, Nobuo TERADA, Takeshi BABA, Yasuko KATO, Masayuki A. FUJINO, Shinichi OHNO (2000) Topographical difference of cytoskeletal organization in smooth muscle cells of rat duodenum revealed by quick-freezing and deep-

etching method. HISTOLOGY AND HISTOPATHOLOGY, 15:1059-1066

- 3) Yamashita H., Watanabe H., Ajioka Y., Nishikura K., Masayuki A. FUJINO (2000) When can complete regression of low-grade gastric lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue be predicated after Helicobacter pylori eradication?. Histopathology, 37(2):131-140
- 4) Shiraishi K., Fukuda S., Mori T., Tatuya YAMAGUCHI, Tanikawa C., Ogawa M., Nakamura Y (2000) Identification of fractalkine, a CX3C-type chemokine, as a direct target of p53. Cancer Res., 60(14):3722-6
- 5) Xuezhong LEI, Shigeko NAITOH, Xuewen DENG, Lianshan ZHAO, Yoshihiro AKAHANE (2000) GB virus C/hepatitis G virus infection in Chinese patients with hepatocellular carcinoma. Hepatol Res, 16:91-97
- 6) Tadashi SATO, Masayuki A. FUJINO, Yuichiro KOJIMA, Morozumi A., Nagata K., Nakamura M., Hosaka H. (2000) Evaluation of immunological rapid urease testing for detection of Helicobacter pylori. Eur J Microbiol Infect Dis, 19(6):438-442
- 7) Tanaka H., Arakawa H., Tatuya YAMAGUCHI, Shiraishi K., Fukuda S., Matsui K., Takei Y., Nakamura Y (2000) A ribonucleotide reductase gene involved in a p53-dependent cell-cycle checkpoint for DNA damage. Nature,
- 8) Xuewen DENG, Hiroshi TERUNUMA, Ray HANDEMA, Minoru SAKAMOTO, Takatoshi KITAMURA, Masahiko ITO, Yoshihiro AKAHANE (2000) Higher prevalence and viral load of TT virus in saliva than in the corresponding serum: Another possible transmission route and replication site of TT virus. JOURNAL OF MEDICAL VIROLOGY, 62:531-537
- 9) Akio TAWARA, Yoshihiro AKAHANE, Masaharu TAKAHASHI, Tsutomu NISHIZAWA, T ISHIKAWA, Hiroaki OKAMOTO (2000) Transmission of human TT virus of genotype 1a to chimpanzees with fecal supernatant or serum from patients with acute TTV infection. Bio-